

公益社団法人日本地震工学会 第 61 回理事会議事録

A.日時：2022 年 12 月 13 日（火） 15 時 00 分～18 時 00 分

B.場所：建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.出席者：（会長）清野純史、（副会長）東 貞成、藤田 聡、松岡昌志

（担当理事）西村拓也、小林実央、古屋 治、山田岳峰、入江さやか、多幾山法子、鳥澤一晃、池田
隆明、能島暢呂、市村 強、楠 浩一、近藤伸也、井上和真、小檜山雅之

（監事）五十田博、末富岩雄

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長、小松康典事務局員

※下線は欠席者

D.議題および提出資料：

議題（見え消し線は中止になった議題）

報告事項

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1) 第 60 回理事会議事録（案）の確認（小林理事） | 資料 61-01 |
| 2) 第 22 回正副会長会議報告（西村理事） | 資料 61-02 |
| 3) 会務報告（西村理事） | 資料 61-03 |
| 4) 会計報告（古屋理事） | 資料 61-04 |
| 5) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 61-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事） | 資料 61-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事） | 資料 61-07 |
| 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事） | 資料 61-08 |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（能島理事） | 資料 61-09 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事） | 資料 61-10 |
| 11) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 61-11 |
| 12) 2022 年度大会に関する報告（楠理事・市村理事） | 資料 61-12 |
| 13) 将来構想委員会からの報告（東副会長） | 資料 61-13 |
| 14) メール審議（3 件）結果報告（西村理事） | 資料 61-14 |

議案

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 第 1 号 入退会者（小林理事） | 資料 61-15 |
| 第 2 号 委員会委員の委嘱（西村理事） | 資料 61-16 |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（小林理事） | 資料 61-17 |

懇談事項

- | | |
|--|----------|
| 1) 功績賞、功労賞、名誉会員の候補者について（西村理事） | 資料 61-18 |
| 2) 2022 年度活動報告、2023 年度活動計画・予算案の作成について
(西村理事・小林理事) | 資料 61-19 |
| 3) 次期理事会の体制について（西村理事） | 資料 61-20 |
| 4) 会員名簿の住所表示について（古屋理事） | 資料 61-21 |
| 5) 表彰メダル製作に向けた検討について（西村理事） | 資料 61-22 |

- | | |
|--|----------|
| 6) 防災学術連携体シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」
の発表募集について（山田理事・池田理事） | 資料 61-23 |
| 7) 次期観測研究計画の検討にかかるアンケート調査について（山田理事） | 資料 61-24 |
| 8) 来年度事務局の体制について（西村理事、戸田事務局長） | （資料なし） |

E.議事録：

議題

報告事項

- 1) 第 60 回理事会議事録（案）の確認（小林理事）
 - ・小林理事より資料 61-01 に基づいて第 60 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
 - 2) 第 22 回正副会長会議報告（西村理事）
 - ・西村理事より資料 61-02 に基づいて第 22 回正副会長会議の報告がなされ、異議なく承認された。
 - 3) 会務報告（西村理事）
 - ・西村理事より資料 61-03 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
 - 4) 会計報告（古屋理事）
 - ・古屋理事より資料 61-04 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
 - 5) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・入江理事より、資料 61-05 に基づいて報告がなされた。日本地震工学会誌第 47 号を今回の大会のプレスリリースとともに文部科学記者会気象庁記者クラブ、国土交通省記者会、地方省庁 3 か所に配布をおこなった。これらの会誌等は事務局が持参して配布を行った。
 - 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事）
 - ・多幾山理事より資料 61-06 に基づいて報告がなされた。
- (1)前回の理事会後に行った活動
- JAEE ニュースを 11 月 1 日号と 12 月 5 日号を発行
- (2)今後の活動予定
- ・研究委員会のホームページの更新
 - ・今後の活動予定として 1 月末に委員会を実施しその次の号のニューズレターについて、話合いたい。
- (3)メールニュース巻頭言執筆のお願い
- 1 月 5 日号を小檜山理事、2 月 1 日号を清野会長にお願いしたい。
- (4)ホームページのセキュリティについて
- ・英文対応中、領収書などウェブからダウンロードができるように修正中
 - ・会員情報の csv 出力の文字化け対応中
 - ・講習会、大会参加申し込みシステムの新規構築を検討中
- (5)メールニュースのフォーマット更新について
- メールニュース 7 月号以降から html 形式での配信に変更したが、テキスト形式で受信した時に文字化けは起きないのかとの質問があった。いろいろの形式でテストをしたが問題なく読めることは確認したが全部の皆さんが使われているものを全て確認できたわけではないのでわからない。今後理事会内でテスト配信して文字化けの有無を確認することとした。併せて小谷先生にもテス

ト配信する。

7) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事）

- ・鳥澤理事より資料 61-07 に基づいて会誌編集委員会からの報告がなされた。

(1)会誌編集委員会開催実績・予定

- ・今年度は次回、第 6 回を 2 月 13 日に同じくウェブで行う予定、2023 年 4 月は田町で行う予定

(2)日本地震工学会誌第 48 号（2023 年 2 月末発刊）についての説明

(3)日本地震工学会誌第 49 号（2023 年 6 月末発刊）についての説明

- ・能島理事より文科省の断層の調査のプロジェクトの一環で、名古屋大学グループが学会の皆さんを対象としたアンケートを実施したが、学会の皆さんへのフィードバックのため、何らかの形で報告をする必要があり会誌へ掲載したいとの要請があった。第 49 号への掲載を念頭に、仮タイトル・執筆者を能島理事から鳥澤理事へ報告することとなった。

8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事）

- ・池田理事より資料 61-08 に基づいて、地震災害対応委員会、国際委員会の活動について報告がなされた。

- ・地震災害対応委員会について

(1)地震への対応

- ・新たな対応地震はなし、今後とも土木学会地震工学委員会と連携し、地震及び被害情報の WEB を通じてタイムリーに提供予定

(2)台湾東部の地震の被害調査報告会

- ・土木学会地震工学委員会と共催で台湾東部の地震被害調査報告会を 12 月 21 日に計画しており土木学会の方で、申し込みサイトを使って受付を始めた。
- ・清野会長が開会のご挨拶を行う予定

(3)国内外で発生した地震被害調査に関する支援手続き

- ・検討継続中。

- ・国際委員会について

(1)ニュースレター英文記事

- ・JAEE Newsletter 12 月号の英文記事を東京大学生産技術研究所の Matthew 氏執筆を依頼し原稿受領済み。

- ・JAEE Newsletter 4 月号は執筆者選定中で適任者がいればご推薦願いたい。3 月 19 日頃締め切りなので 12 月中、遅くとも 1 月初めには執筆依頼をしたい。

- ・海外の地震工学関連学会との連携

1)インドネシア地震工学会

9 月 28 日に 調印済み。2022 年 11 月 21 日のインドネシア・西ジャワ州の被害に対して、学術協定を締結した IEEA のセンガラ会長にお見舞のメッセージを会長名で送付。

2)台湾地震工学会

11 月 11 日に調印済み

3)タイ王国王立工学会・土木工学分野

2023 年 1 月 27 日に JAEE と Civil Engineering Chapter, EIT と研究会を開催し、その席上で調印を予定。

(2)第 16 回地震工学シンポジウムについては国際部会のメンバーを決めて来週、部会を行う予定

- (3)英文ダイジェスト版について地震被害調査の方とあわせて今期中に行いたい。
- 9) 論文集編集委員会からの報告（能島理事）
- ・能島理事より資料 61-09 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
- (1)日本地震工学論文集の編集状況および今後の予定
- ①Vol.22, No.5 を、11 月 30 日に刊行、4 編を掲載
 - ②通常号として計 12 編、英文号は計 3 編と、投稿のペースがかなり落ちてきているが、投稿数が多くなるようにしたい。
- (2)論文集のフリーアクセス・ジャーナル化
- Vol.23, No.1 からフリーアクセス化する。この 12 月の日本地震工学会のメールニュースで周知を行った。
- (3)論文撤回の申し出への対応
- 前回の理事会で、論文撤回の申し出に対する対応を審議した結果を著者に伝えたところ、訂正記事の掲載ということで合意した。
- (4)論文賞の推薦、論文奨励賞の選考について 11 月 25 日に論文賞の推薦書を提出済み、同 26 日には論文奨励賞選考の作業を開始
- 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事）
- ・近藤理事より資料 61-10 に基づいて、事業企画委員会（企画）の活動について報告がなされた。
 - ・学生若手向けの講習会（学生と若手技術者研究者の交流サロン、地震工学のキャリア形成）を日本地震工学会大会の特別企画として実施する。参加申し込み数は現在 12 名で定員は 40 名程度。理事の方々から更に学生に声掛けをいただくよう要請があった。
 - ・震災予防講演会について名古屋大学の武村先生に関東大震災 100 年の研究の総括をしていただくことを予定。入江理事より、プレスリリースを出してはどうかとの意見があり、阪神淡路大震災の 1.17 を過ぎたありで、出すことを検討することとなった。
 - ・E-defense の見学会を 2 月 17 日に予定。オフィスビルを想定した鉄骨造建物を試験体として加振試験を実施する予定。委員会の方で検討した上で、理事会のメールで審議をお願いする予定。
- 11) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事）
- ・小檜山理事より、資料 61-11 に基づいて、16JEES についての準備状況について報告がなされた。
 - ・日本免震構造協会（JSSI）が 16JEES に積極的に参加していただける方針を示されている。
 - ・後援・協賛について、1 月 10 日の幹事会で候補団体を取り纏めてのち、JAEE から協賛依頼をかける方針で小檜山理事から提案され、承認された。また、後援・協賛の最終決定は幹事会に委ねることも併せて確認された。
 - ・後援・協賛団体としては、15JEES の後援団体を参考に候補を検討中であるが、後援・協賛の候補団体があれば運営委員会まで連絡をしてほしい旨依頼があった。
- 12) 2022 年度大会に関する報告（楠理事）
- ・楠理事より資料 61-12 に基づいて、2022 年度大会の準備状況について報告がなされた。
 - ・投稿論文数が 219 編という非常にたくさんの論文を投稿いただいた。
 - ・技術フェアの方も 9 社から登録をいただいた。
 - ・北海道の新型コロナウイルスの感染状況から懇親会は中止となった。
 - ・参加費の収入は 234 万 6000 円を見込み、支出 215 万 866 円の見込である。
 - ・今後も 200 名を超える投稿があると、現在の実行委員会の体制では要員等が不足し準備実施が難しいと感じており、この点について大会終了後に大会実行委員会から提案を行いたいとの説明があった。

13) 将来構想委員会からの報告（東副会長）

- ・東副会長より、口頭で将来構想委員会の報告がなされた。今度の大会において 20 分間、将来構想検討ワーキング中間報告で一昨年度から検討進めてきた結果について報告を行う予定である。資料を現在取りまとめ中である。

14) メール審議（3 件）結果報告（西村理事）

- ・西村理事より、資料 61-14 に基づいてメール審議（3 件）結果報告がなされた。
 - ①「地震防災フォーラム 2022」の協賛依頼の承認について
 - ②正会員 6 名および学生会員 19 名の入会の承認について
 - ③2022 年台湾東部の地震（M6.5, M6.9）被害調査報告会（仮）の共催の承認について
- 以上、3 件のメール審議が行われ、異議なく承認された。

15) その他

- ・清野会長より、2024 年アジア地震工学会議の開催地がネパールに決定したとの報告がなされた。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

議案

第 1 号 入退会者（小林理事）

- ・小林理事より資料 61-15 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者および退会者に関して、異議なく承認された。

第 3 号 共催・後援・協賛等（小林理事）

- ・小林理事より資料 61-17 に示された共催 1 件、協賛 2 件について説明がなされた。
- ・関西地震観測研究協議会との協賛と台湾東部地震の土木学会との共催については、メール審議において承認済みである。
- ・安全工学シンポジウム 2023 年の協賛について、今回も協賛という形で承認された。

懇談事項

1 功績賞、功労賞、名誉会員の候補者について（西村理事）

- ・西村理事より資料 61-18 に基づいて、各賞の選考について説明がなされた。
- ・功績賞候補として、小長井先生、源栄先生が挙げられた。
- ・功労賞候補として、米澤元理事、小松前事務局長が挙げられた。
- ・名誉会員候補として、源栄先生、壁谷澤先生、山崎先生、翠川先生、平田先生が挙げられた。
- ・上記、功績賞・功労賞・名誉会員候補者について、意見がある場合、また他の候補者を挙げる場合にはメールで事務局まで提出することとなった。
- ・2023 年 1 月に名誉会員、功績賞、功労賞の候補者の募集締め切り、対象者のリストアップ、推薦者の推薦書、感謝状には理由書の作成依頼を行い、2 月の正副会長会議で候補者の審議を行い最終的には 3 月 14 日の理事会で最終決定のスケジュールになる。

2 2022 年度活動報告、2023 年度活動計画・予算案の作成について（西村理事・小林理事）

- ・西村理事より資料 61-19 に基づいて 2023 年度活動計画・予算案の作成についての説明がなされた。
- ・事業計画活動計画予算を事業年度の末日 3 月 31 日までに監督庁である内閣府提出しなければならない。
- ・スケジュールとして、2022 年度活動報告、2023 年度事業計画（活動計画）、2023 年度予算原案作

成について各理事に作成していただく、1月末までに資料を提出、2月には総務部会で取りまとめ及び調整などを行い、2月24日に正副会長会議にて意見出・修正等を行い、3月14日の理事会で事業計画書予算を承認後、決算監査として会長、副会長、会計理事、総務事務局、監事の方々に監事報告会を行う予定。（※決算監査日は4月5日の午後に予定）

3 次期理事会の体制について

- ・西村理事より資料 61-20 に基づいて、今後の事務局の体制についての報告がなされた。
- ・次年度の後任の理事の候補者の選定について説明がなされた。
- ・今年度で退任される副会長と総務理事は、高田次期会長が選任する。その他の理事に対して、退任する理事が新任理事を人選し内諾を得ることとなっている。後任の理事を次の理事会の3月14日までに選定することが依頼された。別途西村理事より依頼が発出される予定。
- ・JAEЕの特徴でもあるので、理事として土木、建築、地震、地盤、機械、情報の色々な分野の方をお誘いいただきたいとの意見が挙がった。

4 会員名簿の住所表示について（古屋理事）

- ・古屋理事より資料 61-21 に基づいて、会員名簿の住所表示についての説明がなされた。
- ・現在の日本地震工学会の会員はウェブページから会員名簿を閲覧でき、その中に住所等の個人情報に記載されている会員がいる。表示非表示は登録した会員が選択できるようになっているがそこに気づいていない会員がいることも危惧されるので、一旦取り下げさせて、表記する項目の整理と pdf ファイルのダウンロードを出来ないようにする方法とを確認・検討することになった。
- ・本件、次回理事会で改めて検討する。

5 表彰メダル製作に向けた検討について（西村理事）

- ・西村理事より資料 61-22 に基づいて、表彰メダル制作に向けた検討についての報告がなされた。
- ・今までの東京芸術大学にデザインと制作と一式でお願いする方法ではコストがかかるので、デザインのみ東京芸術大学の学生（杉山さん）にお願いし、メダルの作成は青谷製作所をお願いすることが承認された。（※著作権の問題も杉山さんに了解済み。）
- ・3月までにデザインが完了し最終案ができれば5月の社員総会に間に合う可能性がある。
- ・青谷製作所に、メダルを削り込む深さを任意に変えられるのかを確認すると共に、裏面の刻印等を含めた見積作成を依頼する。

6 防災学術連携体シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」の発表募集について（山田理事・池田理事）

- ・山田理事より資料 61-23 に基づいて、防災学術連携体シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」の発表募集についての説明がなされた。
- ・5月9日の防災学術連携体にて開催された同じテーマのシンポジウムで、小山先生が講演されていた。しかし小山先生が当該シンポジウムの時期に短期留学する予定である。発表エントリーは必須ではないので、今回は見送ることにする。

7 次期観測研究計画の検討にかかるアンケート調査について（山田理事）

- ・山田理事より資料 61-24 に基づいて、次期観測研究計画の検討にかかるアンケート調査についての報告がなされた。
- ・令和6年度からの5か年の時期、観測研究計画の、今の骨子案がありこの内容について学会で意見をまとめアンケートに回答してほしいとの依頼があった。
- ・本件、ご意見があれば取り纏めてメールで回答をする。回答締め切りは12月27日のため、12月20日ぐらいを目途に意見をいただきたいとの要請があった。

8 来年度事務局の体制について（西村理事、戸田事務局長）

- ・西村理事より口頭で今後の事務局の体制についての報告がなされた。
- ・現状で戸田事務局長がフルタイムで勤務し、小松さんは今年の6月までは午前中で来年6月までになっており、事務局員の方は、石井さんと徳澤さんが、週2から週3での勤務となっている。
- ・16JEESなどの大きなイベントも来年11月控えているのでそれも加味しながら来年度どうしていくかと協議・検討を進めていきたいので事務局の体制が決まりましたら皆様にご報告したい。

9 その他（西村理事、戸田事務局長）

- ・事務局が12月27日から1月9日までお休みになる。
- ・理事会で使用する紙の資料について、経費削減の観点からも今後なくすことで承認された。

次回予定：第62回理事会 3月14日（火）16時-19時
（正副会長会議 2月24日（金）16時-19時）

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 清野 純史

監事 五十田 博

監事 末富 岩雄